

(諸事情により、サイト更新を、早めさせていただきました。)

総合活動報告など 1

(や＝山田 学) [☆☆☆総合活動報告など★☆☆☆☆米国株式市場が、今のまま続くと、思っている人も、多いのかもしれない。が、増田悦佐先生が、さまざまなデータをもとに、『米国株崩壊前夜詐欺まがいの循環取引疑惑でアメリカ金融市場は壊滅する!』(ビジネス社2024年10月)と、警告しました。

この警告をまともに受け止めると、いよいよ資本制社会は、〈世も末〉状態です。まづ、今の「新分野」は、虚構なのではないか。]

(『米国株崩壊前夜』191ページより) [怖いのは、こうして再生可能エネルギー、EV、生成AIといった明らかに人類全体の経済を豊かにするより貧しくする「新分野」の将来がバラ色だといった虚構で固めたアメリカの株高が、今や全世界の金融業界を牽引していることだ。]

(や) [しかも、違法・脱法まで、疑はれる…] (同220ページより) [巨大な時価総額を誇るハイテク大手なら違法行為・脱法行為やり放題という認識は、少なくともいわゆる先端産業の実態について多少は知識のある人た

ちに共有されているはずだ。こうした企業の横暴を本気で追及し、暴露すれば大勢の有権者から好感をもって迎えられることは確実だ。]

(や) [米国の、経済や政治の大きな変動は、遠くない。一方、別のかたちにて、中国の、経済や政治の大きな変動も、遠くない。日本人として、この厳しい情勢を正視し、賢明に対応することが、まさに急務です。なので先月、次を公開いたしました。]

民衆風に自立日本国を創始する

『令和日本国憲法案』

表紙

本文 (14枚)

これについて強調したいことは、後述します。続いて今月、JOMONあか데미サイト「店頭」画面にて、次を公開いたしました。

〈次の時代への民衆風教育〉

UFOや異星人を迎へる準備まで

表紙

本文 (11枚)

意外にも、学問 (本質論) の世界史の軸への、

まともな継承が、今の学界とも別に、日本民衆の一部にこそ、ありました。

次の異質な時代を生きる、かはいいい子や孫らのため、横浜市発の、この総合的な流れが、万民にひろがることを、切望いたします。

ICT (情報通信技術) について、今のSNSなどの短所 (衆愚的民主) とは、正反対への、希望を!

古代ギリシャの学問史にたとへれば、ソフィスト (詭弁論者) から、ソクラテス・プラトン・アリストテレス (本質論者) への発達が、必要であり、必然である。

渾沌から秩序へ。

マルクス、エンゲルスより視野のひろい、未来展望とは?

〈諸民族の自立と協同〉へ、日本民族の純情さを、活す。そのためにも、日本の地域づくりのあり方を、転換させる。

そして、山田 学による、近・現代の数学・物理学・生理学の修正とは?

〈核廃棄物を百年以内に根本処理できる、唯一の技術〉とは?

次の異質な時代を生きる、若い世代のところに、この山田 学からの総合活動報告が、どう映りますでせうか？

さて、先月公開の憲法案についても、補足解説しておきます。

これからの日本国こそが、国際平和へ貢献しうる。

わたしどもは基本、平和志向である。と言つて、現行の日本国憲法（とくに、九条）の文言をそのままにしても、まったく、平和志向が推進されない、と強く主張します。

現行憲法は、内閣法制局の「解釈」により、すでに実質、改定済みである。文言をそのままにしても、現実政治としては、その実質改定に、追随することにしかならないのである。さらに、軍事は、政治ないし統治の一部にすぎない。

が、戦争放棄が前提の、現行憲法には、政治体系ないし統治体系の一部として、軍事を明確に位置づける論理が、なにも書かれてゐないのだ。

現実の平和志向の政治として、自衛隊ないし日本国軍を、無難に運営するには、むしろ、憲法の前文から全体にわたり、さまざまな規定を、ていねいに盛り込む、全面改定こそが、必須なのだ。

「口先のみの見かけの姿勢のみの平和志向」でなく、現実政治として真剣に平和を志向するのなら、わたしどもの『令和日本国憲法案』への全面改定こそが、正解である。さう、ひ

ろく深く、悟つていただけますでせうか。]